

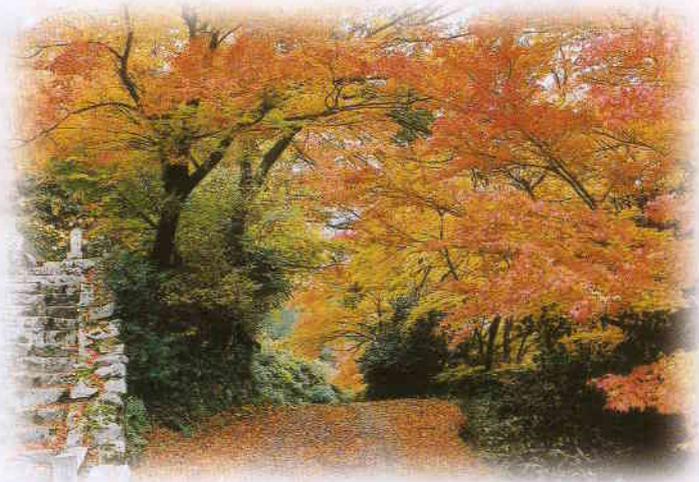
広報

うん
なん

旬を感じ 生命を育む

ゆきりの里 雲南

広域連合



雲南地域ふるさとのおひなまつり
イベント情報

10

奥出雲日帰りバスツアー開催
島根ふるさとフェア2004

9

ゆきりの里雲南フェア開催

8

雲南地域ふるさと
探訪バスツアー開催

7

介護保険情報コーナー
介護保険料の社会保険料
控除について

6

ゆきりの里づくり
シンポジウム開催

2~5

桜井家日本庭園と周辺の紅葉(仁多町)

桜井家住宅の母屋や土蔵など計9棟が今年5月、国の重要文化財に指定されました。また、日本庭園および周辺は雲南の代表的な紅葉の見所の一つです。



冬号
発行・編集
雲南広域連合

2003
Vol.28

11

平成15年11月18日発行

T690-2403
島根県石廊三刀屋町大字下野谷1773-1
TEL0854-45-5880 FAX0854-45-5887
E-mail: info@unnan.jp

第8回

ゆうきの里づくりシンポジウム開催

テーマ「介護保険の現状とこれからの課題」

9月21日（日）に木次町チェリヴァホールにて雲南広域連合と鳥根県木次健康福祉センター主催で開催しました。

平成12年の介護保険制度の開始から3年が経過し、今年4月からは第2期介護保険事業計画に基づいて介護サービスが提供されているなかで、雲南地域の介護保険の現状と課題の把握、より良い介護サービスの提供を図るためにはどうしたらよいか様々な提案がなされました。

基調講演

演題 「介護保険3年の検証と今後の課題」

講師 龍谷大学 社会学部教授 池田 省三氏

略歴 厚生労働省に設置されている介護関連事業進行政策会議の委員などを歴任され、介護保険制度の創設時から深いかかわりを持たれています。



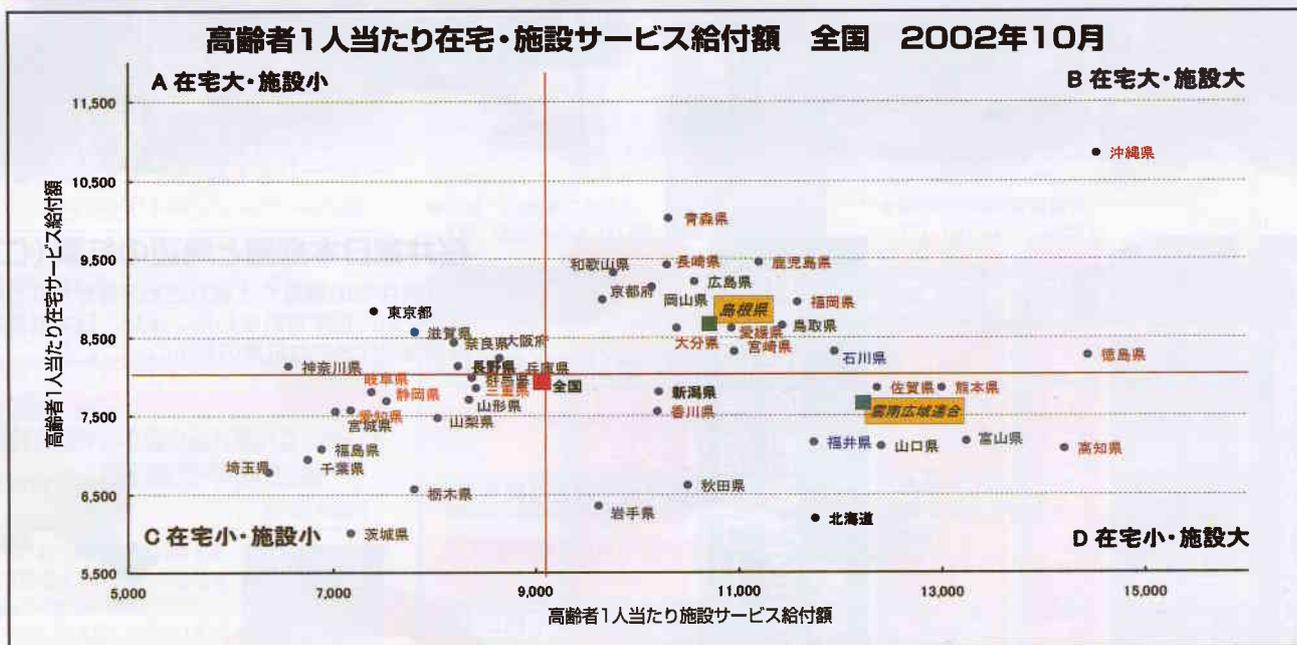
講師、講演の様子

基調講演の主な内容について抜粋して掲載します。

● 元気老人はおよそ9割

全国で要支援、要介護と認定されている高齢者は約330万人で65歳以上の高齢者の1割余り、元気なお年寄りがおよそ9割いることを忘れてはならない。元気なお年寄りにどうやって地域で活躍してもらい、そのことによっていかに要介護者をつくらないことにつなげていくかが重要。

● 西高東低の介護保険サービスの利用



● 大都市圏域では訪問型サービスが主流。地方は通所介護が主流。

施設を造るには土地が必要であり、大都市では土地の取得が難しい。一方、地方では土地の取得は容易だが、家に他人を入れたくない意識が高い。

● 要介護認定は社会的サービスを物差しにできている

要介護認定は心や身体の状態が悪くなればなるほど重くはならない。食事を例にすると
①自分で食べられる ②見守られながら自分で食べられる ③自分の意思で介助してもらって食べる ④（自分の意思とは関係なく）全部食べさせてもらう ⑤チューブで栄養を取るなどがあるが、この中で一番手間のかかる介護は③の自分の意思で介助してもらって食べる（半介助）になる。排泄を例にしても同様。このことが要介護認定について色々な意見が出てしまう理由なのだと考えられる。



● これまでの福祉は本人を保護する福祉

あるおばあさんの例

- ①最近歩くのがつらいからつえを給付してくれないか → つえを給付
- ②つえだとあんまり遠くにいけないから車椅子を給付してくれないか → 車椅子を給付
- ③車椅子を自分でこぐのは限界があるからガイドヘルパーをつけてくれないか → ガイドヘルパーをつける
- ④その結果おばあさんは歩けなくなった。

● これからの福祉は本人の状態を良くすることを考慮する。（3つのポイント）

- ①引きこもり防止のクラブで集って交流をしたり、デイサービス等使わなくても朝市でもいいので、交流や社会性の持てる場をつくる施策。
- ②お年寄りは食生活に関心が低く、特に75歳以上のお年寄りは食生活に非常に無関心であり、その結果栄養状態が悪くなって要介護状態になることも多いため、食生活の改善を図る施策。
- ③筋力の低下を防ぐための筋力トレーニングの重要性を考慮した施策。

● サブシステムの構築が今後の課題

これからの介護保険の大きな課題は、低所得者の方や痴呆性高齢者の方の権利擁護をシステムとしていかにうまく機能させていくか。介護保険はメインシステムとしてサブシステムをどうやって組んでいくか。介護保険ができて3年がたったがまだうまく機能していない。これらを解決していくことが今後の大きな課題である。

● 介護保険は地域間の所得再配分

中山間地や離島の介護保険のお金はほとんど都会から来ており、雲南地域でも80パーセント以上は外からのお金でまかなっている。いわば地域と地域の助け合いという形。しかも、福祉というのは新しい雇用を創り出し、しかも一時的ではなくずっと続き、地元にお金も落とす。公共事業は一時的でしかも原料などよそから調達されたら地元にお金がなかなか落ちない。そういった意味で介護サービスは新しい形の公共事業ととらえると地元の経済に大きな意味がある。

● 介護保険にナンバーワンはいらない。雲南地域をオンリーワンの地域へ。

介護保険の給付を軸にして地域の様々な社会資源と組み合わせるサービスを行うことにより、その地域独自の地域ケアシステムを構築することが今後はより求められてくる。例えば愛知県高浜市では、市内の食堂やレストランと契約して、1日3回電話一本で中華でも和食でも届けてもらう選択性の配食サービスシステムなどを構築している。

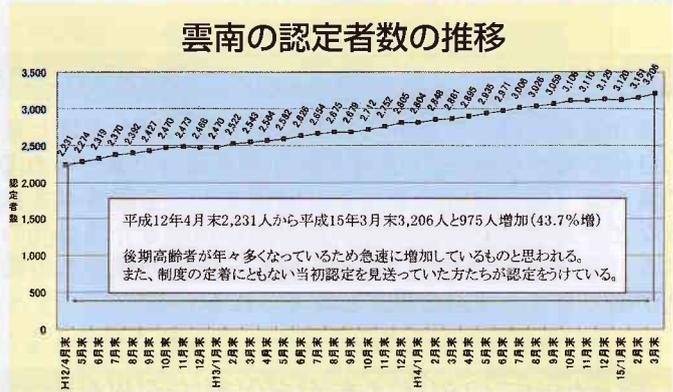
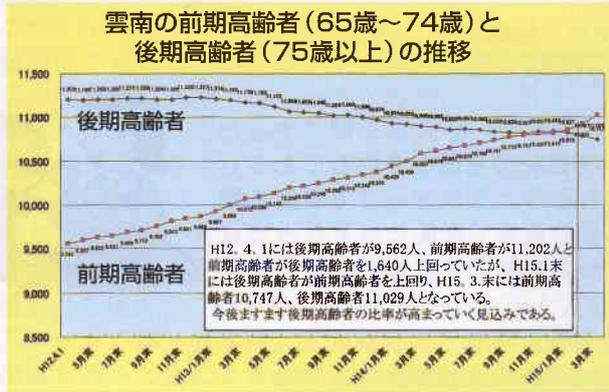


雲南地域も独自の地域ケアシステムの構築を目指してください。

プレゼンテーション

「雲南地域第1期介護保険事業実施状況」について資料を使って雲南広域連合から説明を行いました。

(その中の一部資料)



パネルディスカッション「雲南地域の課題と今後の取組み」

この雲南地域で、できるだけ多くの方が在宅生活を続けられるようにするにはどうしたらよいか、現在の課題と今後の



取組について、パネリストの皆さんの体験から発表していただき、ディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

パネリスト



横田福祉会居宅介護支援事業所
ケアマネジャー
中林 弘子氏

介護サービス事業者と利用者やその家族の間に立った仕事に携わっている。

■介護保険制度が権利として浸透してきた事によりサービス利用を希望する人が増えてきつつあるものの、サービスの量や内容が不十分で、専門性が生かされたケアプランになっていないのではないだろうか。介護保険のサービスのみでなく、介護保険適用外のサービスの充実と利便性を図ることで、個々の利用者にあったサービスの提供が可能となり、利用者のレベル低下を防ぎ、要介護者を増やさないことに繋がるのではないかと。

■それぞれの施設の特性を生かしたサービスの提供や、入院中から退院後の生活を見据えた上での指導、リハビリを通し、利用者や家族の声に耳を傾けながら関わる事が大切。



赤来町高齢者福祉センター
施設長
加藤 恭司氏

利用者宅を訪問して行う訪問介護サービス事業に携わっている。

■この地域の人は遠慮がちで、日常生活が本当に困難になるまで我慢している人が多い。また、他人が家庭に入るのを嫌がったり、ヘルパーに訪問してもらっていることを近所の人に知られるのを嫌がったりされる傾向にある。このため、住民に対する介護保険制度の周知や理解を促していく必要性を痛感している。

■ホームヘルパーは医療行為ができず、例えば床ずれの方のガーゼ交換もできない。制度の見直しをしてもらおうと良い。

■介護保険制度が定着してきつつある今日、サービスの質が問われており、短時間でも味のよい調理ができるような実習をしたり、サービスの自己評価を行ったりして、資質の向上に努めている。



デイサービスセンターあおぞらの家
施設長
森山 史朗氏

痴呆性高齢者のデイサービス、グループホームの運営に携わっている。

- これからは小規模多機能の施設が重要になってくると思っている。痴呆性の高齢者は環境が変わったり、大人数のところに行くと不安になる。なるべくそういうダメージを少なくするために小規模でデイサービスやショートステイができ、通って泊まって最終的にはもう住んでもいいなと思ったら住めるような施設を目指している。
- 痴呆性高齢者がいて家族が共働きの家庭などは、やっぱり週5日ぐらいデイサービスを使わないと仕事をやめないといけないという問題がある。介護保険の前は週5日通われていた人も限度額の関係で週5日来られなくなった例もある。
- 保険者や行政の施策で、限度額で足りなく本当に困っている利用者や家族を支える施策を考えていかなければならない。例えば出雲広域では要介護3,4の方の限度額を1.3倍に、要介護5を1.4倍に上乘せし、実際にサービスの利用が出来て助かっている家族がいる。



介護老人保健施設ケアセンターきすき
事務部長
福田 弘氏

家庭復帰施設としての運営に携わっている。

- 雲南地域は特別養護老人ホームは非常に多く、池田先生も施設依存型の地域と言われていたが、老人保健施設は木次町のケアセンターきすき、三刀屋町の平成苑、仁多町の老人保健施設の3箇所しかない。
- 老人保健施設には、総合的なケアサービス施設、家庭復帰施設、在宅ケア支援施設、地域に開かれた施設、とこれまで大きな役割が4点があったが、この4月からははっきりとりハビリ実施施設という役割が加わった。
- 現在当施設ではパワーリハビリを取り入れており、通所リハビリを来年春から痴呆性老人を20人、そうでない人を30人ぐらいにわけて始めたい。また、現在2ヶ月に1回20~25人ぐらいの通所リハや入所者の家族の方に参加いただいている家族会介護教室を質量ともに充実していきたい。

● アドバイザー



龍谷大学社会学部教授
池田 省三氏

- 在宅サービス事業者が、この人の生活を6ヵ月後にはこうしてみせるというイメージをすることが大事。利用者の方が在宅での生活がイメージできれば在宅は伸びる。
- 島根は痴呆性老人ケアについて発信してきた地域。この雲南広域連合でも全国に発信できるものを一つ開発してみてもどうか。大胆な挑戦を望みます。



● コーディネーター



島根県木次健康福祉センター
所長 杉原 純氏

- パネリストの方全員が言われたように、介護保険の最低限定められた制度だけでは、なかなか即応性のある住民の方が満足するような運用がしにくいのではないかと。個々の利用者の状況に応じたサービスをどう組み立てていくか、制度の限界、関係機関の連携、利用者の理解、そういうことが問題になってくる。しかし介護保険は自治事務であり、知恵をだせば介護保険制度の枠は簡単に超えられるのでこれから検討もしていきたい。
- 雲南地域は島根県の中でも平均寿命が一番長く、かつ健康寿命が一番長い地域。介護サービスを利用することにより、人生を楽しく生きがいをもって生きられるような地域にしていければよい。

がんばっています 介護サービス Vol.10



みうら いずみ
三浦 泉さん
(介護福祉士)

今回は、掛合町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム「えがおの里」の三浦泉さんを紹介します。

「えがおの里」は平成11年11月に開所しました。入居者の居住空間に配慮した個室の雰囲気のある居室や機能訓練室、食堂、廊下等には十分なスペースを取り、明るく快適な施設となっています。平成12年4月より開始された介護保険制度にも対応するようショートステイ6床、ホームヘルパーステーションなどを併設しています。

また、環境にもやさしい施設として光熱費の約25%をソーラーシステムでまかっています。



- **日頃サービスを提供する上で心がけていることは**
施設の名前が「えがおの里」であるように、笑顔を忘れないで利用者さんに接し、又利用者さんからも笑顔がいただけるような対応を心がけています。
- **仕事で大変なこと、また良かったことは何ですか**
利用者さんの訴えられることが、分かってあげられない時、申し訳ない気持ちになります。しかし、気持ちが通じた時の利用者さんの顔を見たときは、良かったと思います。また、家族の方からの手紙を利用者さんと読ませていただいた時、家族の方のあたたかい気持ちをわけていただきました。
- **好きなこと、趣味は**
趣味ではないですが料理をすることです。仕事の日には、食卓のおかずが簡単なものになってしまうので、休日には手の込んだ?おかずやおやつをつくるようにしています。子供の「おかあさん〇〇またつくって。」の声がうれしいです。
- **何か一言**
朝晩寒くなってきました。手洗い・うがいをしっかりと、風邪をひかないようにしましょう。

介護保険料の社会保険料控除について

介護保険料(平成15年1月1日~12月31日)は所得税の年末調整の控除対象(社会保険料控除)となります。

控除に必要な金額は、保険料の決定通知書の金額で確認できますが、決定通知書は年度の金額(平成15年4月~3月まで)なのでご注意ください。

なお申告の際証明書等の添付は必要ありません。

また、次の確認方法で年別の金額がわかりやすくなっています。



確認方法

特別徴収(年金天引)の場合

年金保険者から送られてくる公的年金等の源泉徴収票に記載してある金額をご確認下さい。

普通徴収(口座振替又は納付書納付)の場合

● 口座振替の場合

口座振替明細書の金額をご確認ください。

● 納付書納付の場合

各期ごとの領収書の金額をご確認ください。

介護保険料に関するお問合せは

町村名	課名	電話番号(0854)
雲南広域連合	介護保険課	45-5803
仁多町	健康福祉課	54-2781
横田町	町民福祉課	52-2113
大東町	健康福祉課	43-6133
加茂町	健康福祉課	49-8612
木次町	健康福祉課	42-1125
三刀屋町	保健福祉課	45-9501
吉田村	健康福祉課	74-0211
掛合町	健康福祉課	62-0727
頓原町	保健福祉課	72-1770
赤来町	健康福祉課	76-3800

雲南地域ふるさと探訪 バスツアーを催行しました



コスモス祭(頓原町)のにぎわい

雲南広域連合では仁多郡・大原郡の方は飯石郡を、飯石郡の方は仁多郡・大原郡を探訪していただき、雲南地域の見所を再発見していただく「雲南地域ふるさと探訪バスツアー」を企画し、10月12日の日曜日に実施しました。

このバスツアーも今年で3年目を迎えましたが、当日は天気に恵まれ季節外れの暑さの中でのツアーとなりました。

参加者の皆さんからは、行程はやや急ぎ足でありもっとゆっくり見たいというご意見や、正にふるさととの再発見につながったなどのご意見が寄せられました。

皆さんも雲南地域の行ったことのないスポットに出かけてみませんか？

ふるさととの良さや魅力を再発見できますよ！

バスツアー探訪先

仁多郡・大原郡探訪コース

加茂町 加茂岩倉遺跡とガイドンス

加茂町 空外記念館

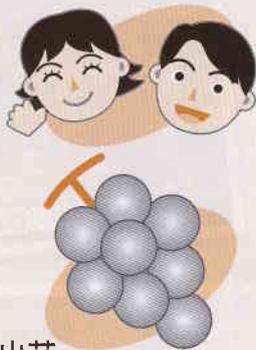
大東町 古代鉄歌謡館

木次町 食の杜

木次町 輿出雲葡萄園

仁多町 鬼の舌震

仁多町 亀嵩温泉玉峰山荘



飯石郡探訪コース

三刀屋町 永井隆記念館

三刀屋町 明石緑が丘公園・ラン栽培施設見学

赤来町 道の駅「赤来高原」薬膳レストラン

赤来町 赤来高原観光りんご園

頓原町 コスモス祭

掛合町 波多温泉満壽の湯

掛合町 八重滝



参加者の皆さんの声

仁多・大原郡方面

- そばを車で通ることはあっても中々立寄ることがないところばかりで色々を知ることができて大変良かった。(女、40歳代、吉田村)
- ほとんど初めてのところばかりで、正に探訪であり、楽しませていただきました。(男、50歳代、掛合町)



鬼の舌震(仁多町)での一コマ



永井隆記念館(三刀屋町)で熱心に見学される様子

飯石郡方面

- 近くでいつでも行けると思い、行く機会がなかった。ツアーを企画され、参加できて喜んでいる。(男、60歳代、木次町)
- 心配だった天気良くて何よりでした。初めてのところへ行かせてもらい楽しい一日でした。又、家族で出かけてみたいと思います。(女、60歳代、横田町)

…… 雲南の魅力をアピール!! ……

ゆききの里雲南(奥出雲)フェアを広島市で開催!!

この秋も雲南地域10カ町村と協力し、雲南地域の特産品の販売や、伝統芸能である神楽の上演、また観光PRを行うフェアを広島市西区の大型商業施設アルパークで10月18日(土)19日(日)の2日間にわたって開催しました。

各町村に分かれたブースでは、大東町や頼原町の「出雲そば」をはじめ、赤来町の「りんご」、仁多町の「仁多米」、横田町の「青大豆ざる豆腐」、加茂町の「手打ちち物」、木次町の「乳製品」や「野焼き」、三刀屋町の「緑の桜餅」、吉田村の「卵かけ専用醤油おたまはん」、掛合町の「梅と酢」などが人気を集めました。

ステージでは一日3回、三刀屋町の中野神楽保存会による勇壮な舞いや、神楽の合間には仁多町の奥出雲ふるさと会による餅つきの実演販売があり、フェアを盛り上げました。また、神楽の上演の前には、集った多くの観客に向けて、雲南10町村のPRを行い、雲南の物産や観光地に興味、関心をもっていただきました。

観光ブースでは町村の観光パンフレットの配布やアンケート、また広島テレビで毎月第一日曜日の夕方5時15分から15分間放送している番組「発見!まるごと奥出雲」のビデオの上映も行いました。雲南の観光地についての質問も多く、改めて広島県の人々の関心の高さと情報発信の必要性を感じました。



人気でした出雲そば



中野神楽保存会による神楽の上演



神楽上演の観客とフェアの様子



観客に向かって町村PR



観光PRブースで質問に答えている様子



何が当たるかお楽しみ「お楽しみ抽選箱」



歌にあわせてもちつき



広島県からの奥出雲 日帰りバスツアーを催行しました

雲南広域連合では広島県の方に雲南地域の魅力を楽しんでもらおうと雲南地域だけを巡るバスツアーを企画、実施しました。

バスツアーは10月19日(日)を皮切りに11月16日(日)まで、計6回実施し、延べ275人の方がツアーに参加されました。

ツアー内容としては「鬼の舌震を下流から上流への通り抜けで散策(仁多町)」「食の杜で、焼きたての焼きさばや焼きさばすし、こだわり豆腐や有機野菜サラダなどの昼食と芋ほり体験(木次町)」「奥出雲葡萄園でワインの試飲と地下樽貯蔵室の見学(木次町)」「加茂岩倉遺跡とガイダンス見学(加茂町)」「トロッコ列車乗車体験」です。

参加された皆さんからは、楽しかった、知らなかったがまた来たいなどと好意的な声が聞かれ、これからも雲南地域の魅力のPRや実際に体験していただくいい機会の提供が必要だと感じられました。

また、ツアー初回の様子は広島テレビが同行取材をしテレビ放映されました。



アナウンサーも芋ほりにチャレンジ



奥出雲葡萄園での
ワインの試飲の様子



トロッコ列車の中での
取材の様子



めずらしそつに焼きさばを
見る参加者の皆さん

島根県の
魅力が満載!!

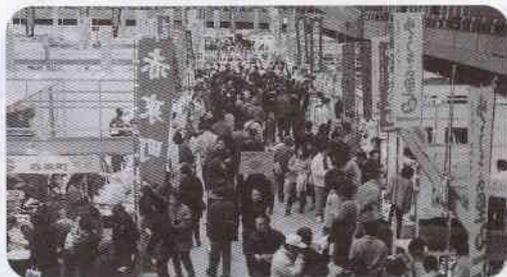
島根ふるさとフェア2004開催!!

今年で7年目を迎える島根県の全市町村が参加して広島市で開催する一大イベント。

特産品の販売や、屋外での屋台村、また郷土芸能披露など島根県の魅力が満載です!!

雲南地域の各町村からも特産品販売や屋外屋台村に多くの出展があります。

広島県の知人、友人の方にもぜひご紹介ください。



昨年の島根ふるさとフェアの様子

とき

1月17日(土)・18日(日)の2日間

ところ

広島市中区 広島グリーンアリーナ
(広島県立総合体育館)

お問合せ先：雲南広域連合総務課 TEL 0854-45-5880



雲南地域ふるさとのひとコマ

Vol.10

三刀屋町・峯寺弥山

古くから出雲大社信仰の遥拝の山として知られる峯寺弥山。このほど山頂と峯寺遊山荘の登山口に鳥居を建立、山頂付近の樹木も伐採され、稲佐の浜を始め360度のパノラマが楽しめます。ぜひ一度登って鳥居から遥拝してみてください!



弥山

峯寺

ゆきの里 雲南 イベント情報 2003～2004

DECEMBER 師走

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12月7日(日) 三刀屋町

歳末チャリティ余芸大会

文化体育館アスパル

心と知恵を出し合ってみなでつくるチャリティ余芸大会。
★三刀屋町社会福祉協議会
TEL 0854-45-3659

12月13日(土) 19:00開演 加茂町

【櫻井哲夫with世良公則】神本宗幸(P) 加茂町文化ホールラメール

櫻井さんと世良さんのオリジナル曲や洋楽・邦楽のカバー曲等のアコースティックライブ。前売り4500円、当日5,000円
★加茂町文化ホールラメール
TEL 0854-49-8500

12月13日(土) 吉田村

グリーンシャワークリスマスパティー 吉田グリーンシャワーの森

フリードリンク、フリーフードでの立食パーティー。
参加者全員にオリジナルプレゼント進呈。
★吉田グリーンシャワーの森
TEL 0854-74-0210

12月14日(日) 18:30開演 大東町

第12回神話の森のふれあいコンサート 「賈鵬芳中国の調べ」 古代鉄歌謡館

アジアを代表する二胡奏者賈鵬芳氏による本場の中国音楽を心ゆくまでご堪能ください。前売り2,500円、当日3,000円(全席自由)
★古代鉄歌謡館
TEL 0854-43-6568



12月20日(土) 吉田村

餅つき体験

「新年を手づくりお餅で迎えましょう!!」
吉田グリーンシャワーの森

おもちつきを体験して、つきたて餅のぜんざいや雑煮を食べ、その上お持ち帰り分の用意もあります。

★吉田グリーンシャワーの森
TEL 0854-74-0210

12月27日(土) 加茂町

第9回フェニックスコンサート

加茂町文化ホールラメール

音楽を勉強している方たちの発表会。ピアノ、電子オルガン、歌、管楽器の演奏など。

出演者参加費3,000円、入場料は無料
★加茂町文化ホールラメール
TEL 0854-49-8500

12月31日(水) 23:00～ 仁多町

仁多乃炎太鼓「大晦日年越演奏」

仁多集合庁舎前

恒例の年越炎太鼓ライブ。2004年に向けて、町に木魂する炎太鼓でカウントダウン!

★三成 山田孝之助さん
TEL 0854-54-1076



JANUARY 睦月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月1日(木) 8:00～ 掛合町

元旦マラソン

町民体育館

元旦に1年の健康を祈願し、200人余りの老若男女が町内を駆け抜けます。
★掛合町教育委員会
TEL 0854-62-0013



1月中下旬 横田町

第24回樹氷展

横田町コミュニティセンター展示室

絵画、デザイン、書、写真、工芸など、今年度の島根県総合美術展での仁多郡関係者の招待・入賞作品を一同に展示します。入場無料

★横田町役場教育委員会
TEL 0854-52-2021

雲南地域ゲレンデ情報

12月13日(土) 頓原町

琴引フォレストパークスキー場オープン

キッズルームやソリゲレンデなど子供も遊べるファミリーゲレンデ。初心者も大歓迎!
★琴引フォレストパークスキー場
TEL 0854-72-1021



12月23日(火) 横田町

三井野原スキー場開き

もちつき、みかんのサービスがあります。スノーボードの滑走も可能となりました。
★横田町地域振興課
TEL 0854-52-2113



12月下旬 赤来町

赤来高原スキー場

全面スノーボード滑走可能。ソリエリアもあり、ご家族でゆっくり過ごせます。
★赤来高原スキー場
TEL 0854-45-5880



●雲南地区の観光、イベント情報、介護保険について掲載●
雲南広域連合ホームページアドレスは

<http://www.unnan.jp/>

雲南未来博物館ホームページアドレスは <http://www.ufm.jp>